

HEADLINE



ペガサスの取り組みに対し、岩手県知事よりお礼の手紙をいただきました。

馬場記念病院から消化器科部長の原順一医師、看護師の今福美裕貴、福田有里、法人本部の中辻朋博が、東日本大震災支援活動に従事しました。活動期間は4月27日から三日間で、日本医師会災害医療チーム（JMAT）として参加したものです。



原部長（前列右端）今福看護師（後列右端）
福田看護師（前列左端）



梨谷臨床心理士（後列右から2番目）

東日本大震災の被災地・被災者の方々に、私たちのできることを、何かしなくてはならない。そう思った思いから、社会医療法人ペガサスでは、微力ながらいくつかの支援活動を行っています。

震災直後には、「東海青年医会」を通して、医薬品をはじめ、医療・介護物資など、とにかく必要と考えられるものを、まずは送りました。その後も、さまざまな団体からの要請に応え支援を行っています。

日本医師会災害医療
チームに参加し、岩手県で
診療支援活動に従事。

馬場記念病院から消化器科部長の原順一医師、看護師の今福美裕貴、福田有里、法人本部の中辻朋博が、東日本大震災支援活動に従事しました。活動期間は4月27日から三日間で、日本医師会災害医療チーム（JMAT）として参加したものです。

被災地では、震災のショックに加え、長期化する避難生活のストレスで、心身の不調をきたしている方が多くいます。そうした人たちの「こころのケア」の必要性が求められているなか、馬場記念病院臨床心理部臨床心理士の梨谷竜也が、日本赤十字社の「こころのケア班」に参加しました。

震災直後から物資支援、
義援金、被災者の受け入れ
などを行っています。

Report

東日本大震災の被災地、被災者の皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。
社会医療法人ペガサスが実施した「支援活動」をご報告します。

とグループ企業ユニコが協力し、合わせて合計600,000円を、「大阪府私立病院協会」「堺市医師会」「日本赤十字社」に分割して寄託。さらには、職員を現地での診療支援活動に派遣したり、ペガサスロイヤルリゾート石津にて被災者の方々の入居を実施するなど、安心で安全な生活をお送りいただくことに努めました。

馬場記念病院 臨床心理部の
臨床心理士が「日赤
こころのケア班」に参加。

社会医療法人ペガサス 外来診療のご案内

平成23年8月1日現在

	診療時間	診療科		月	火	水	木	金	土
馬場記念病院	午前診 9:00～ 受付 8:30～12:00	内科 循環器科	1診	山下 啓 (循環器)	坂本常守 (循環器)	難波雅司 (循環器)	平田明子 (内科)	坂本常守 (循環器)	田口晴之／島田健永 第1・3・5週／第2・4週 (ともに循環器)
			2診	平山道彦 (循環器)	永田光里 (呼吸器)	周藤弥生 (糖尿病)	棚野吉弘 (呼吸器)	玉垣学也／棚野吉弘 第2・4週／第1・3・5週 (ともに呼吸器)	
		外科 消化器科	外・消1診	金原 功	坂下克也	豊川貴弘	金原 功	寺岡 均	福岡達成 第1・3週
			外・消2診	原 順一	寺岡 均	真下勝行	坂下克也 (胃ろう外来)	平田直人	大平雅一 第2・4・5週
			外・消3診		河内屋友宏		原 順一		北田拓也 (肝臓病)
		脳神経 外科	脳外科1診	宇野淳二	伊飼美明	魏 秀復	宇野淳二	魏 秀復	交替制
			脳外科2診	徳永 聡	馬場武彦	徳永 聡	長岡慎太郎	伊飼美明	
			脳外科3診	長岡慎太郎	甲斐康稔	松尾吉紘	松尾吉紘	甲斐康稔	
		(脳)神経 内科	(脳)神経内科1診	高橋光雄	北口正孝	峯田春之	北口正孝	金田明子	濱田征宏
			(脳)神経内科2診	中谷芳美	千本裕子	西本和弘	楠 進 第1・3週	長谷川隆典	
			(脳)神経内科3診				平賀定一		
		整形外科	整形外科1診	本田良宣	山北真也	本田良宣	本田良宣	山北真也	交替制
			整形外科2診	篠塚宗徹	岡垣健太郎	篠塚宗徹	吉野信之	岡垣健太郎	岡田充弘 第1・3週
			整形外科3診	釜野雅行	岡田 貴		岡田 貴		庄司恭之 第1または、第3週(脊椎)
		形成外科		山本喜英	山本喜英			山本喜英	山本喜英／矢野 基 交替制
	午後診 14:00～ 受付 13:00～15:00 は 予約が必要です。 必ず予約のうえ ご来院ください。	内科				坂本常守 (循環器)			
						玉垣芳則／若山公作 第2・4週／第1・3・5週 (在宅酸素)			
		(脳)神経内科		北口正孝		北口正孝			
				池尻義隆 第2・4週		南部泰孝 (睡眠時無呼吸外来)			
		整形外科		岡垣健太郎(関節の外来)	釜野雅行 (手の外来)		装具外来 (14:00～14:30)		
			山北真也 装具外来(14:00～14:30)						
		泌尿器科		野澤昌弘		清水信貴(予約検査) 吉村一宏(診察のみ)	野澤昌弘		
	ペガサスクリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	1診	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德 第1・3・5週 矢野 基 第2・4週
			2診	宇治義正	戸田千綾	宇治義正	宇治義正	宇治義正	岡本隆司 第1・3週 田中秀典 第2・4・5週
			3診		担当医				
夜診 18:00～19:00 受付17:30～19:00		1診	永田安德	矢野 基	宇治義正	宇治義正	担当医		
2診	担当医	担当医	担当医	担当医	永田安德				
ペガサスクリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00		中林孝之	長谷川隆典	中林孝之	中林孝之	中林孝之	中林孝之	
	午後診		往診	往診	往診	往診	往診		
馬場満記念クリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	内科外来	久保俊彰	交替制	新田敦範 (外科)		千本裕子 (脳神経内科)	交替制	
		外科外来	担当医(脳神経外科) 新田敦範(外科)	本田良宣 (整形外科)	担当医 (脳神経外科)	山本喜英	北口正孝 (脳神経内科)		
	午後診 15:00～18:00 受付14:30～18:00		担当医 (内科)	交替制	久保俊彰	新田敦範	久保俊彰		

ペガサスデイサービスセンター石津・ ペガサスデイサービスセンター石津2号館 からのお知らせ

バラ園を散策し、初夏の一日を楽しみました

ペガサスデイサービスセンター石津と2号館では、5月23～28日のうち休園日と雨天の日を除く3日間、デイサービス外出行事として、ご利用者に浜寺公園内のバラ園を散策して楽しんでいただきました。普段外に出ることの少ないご利用者は外出をととても喜ばれ、25日17名、26日17名、27日14名の合計3日間で48名と多くの方が参加。各日12～14名の介護職者ととともに、たくさんのバラを見て回りました。バラ園には、プリンス美智子、プリンス愛子などのめずらしい品種のバラもあり、つかの間のひとときでしたが、参加者の方々の間に大きな笑顔が広がりました。ペガサスデイサービスセンター石津と2号館では、これからご利用者のための楽しい行事を数多く催していく予定です。



ペガサス脳卒中センター ペガサス消化器センター

馬場記念病院では、脳神経外科の医師とコメディカルとのブレインチームによる「脳卒中センター」、また、外科と消化器科とのチームによる「消化器センター」を設置し、高度な専門治療の提供を行っています。

8月のペガサスセミナーは、
「糖尿病性壊疽について」
～足が黒くなってからでは大変です～

講師：山本喜英 馬場記念病院 形成外科 医師
日時：8月30日(火) 午後2時～3時
場所：馬場記念病院 1階 ロビー

8月の介護支援セミナーは、
これで安心!! 介護保険制度

講師：寺内 淳・北田 大也
社会医療法人ペガサス 医療福祉相談室
日時：8月31日(水) 午後3時～
場所：介護療養型老人保健施設ペルセウス 3階食堂

法人本部からお伝えしたいことがあります。

ペガサス医療体験デイ 就活バージョン開催!

毎回好評の看護学生対象のペガサス医療体験デイ 就活バージョン。病棟施設や看護師寮の見学、各種制度説明などを予定しています。看護師をめざす皆さん、どうぞお気軽にご参加ください!



開催日 9月10日(土)
受付時間 12:30～



※詳しくはペガサスのホームページをご覧ください。http://www.pegasus.or.jp/

馬場記念病院からのお知らせ

岡田玲一郎先生をお招きして、
新入職員研修会を開催しました。

今年度入職した93名の新入職員を対象に、5月26、27、28日に新入職員研修会が行われました。この研修会は、社会医療研究所所長の岡田玲一郎先生主導で開催され、研修プログラムの作成から当日の講師まで、岡田先生自らが行ってくださったものです。午前の部は、「福祉と医療の現状と課題」についての講演からスタート。医療事情を知り尽くした岡田先生のお話に、出席者は興味深く聞き入り、熱心にメモをとる姿も見られました。午後の部は出席者参加型のプログラムへと移り、アンケート形式の設問に答えたり、出席者間で意見を交わす場面も。たとえばコンセンサス(合意)の実習では、「月で遭難したときにどうするか」というテーマに基づき、出席者それぞれの価値観について話し合い、出席者はコンセンサスを得ることの難しさを知るとともに、患者さまや医療従事者への対応についても学びました。研修会を終えた新入職員たちは、研修前よりも少し頼もしい顔つきになり、それぞれの職場に戻って行きました。

健診室からのお知らせ

マンモグラフィを移設しました。

検査を受ける方のプライバシーに配慮し、安心して検査を受けていただける環境を整えるため、マンモグラフィを北館1階から南館1階(健診室の隣)に移設しました。また撮影は、女性の診療放射線技師が担当します。お気軽にお受けください。

■お問い合わせ 072-265-6006



S p e c i a l

馬場記念病院 最前線

シリーズ
17

医療機器管理部(ME部)

医療機器の専門家として
機械の管理をし、医師や看護師を
サポートする縁の下での力持ち。

高度な医療機器の
操作や保守点検を
行っています

医療機器管理部(ME部)では臨床工学技士が、生命維持管理装置と呼ばれる、患者さまの生命を守るための機械の操作や保守点検を担当しています。臨床工学技士は、医療機器の高度化・複雑化に伴い、医学と工学の知識をもった専門家の必要性が高まって生まれた比較的新しい職種です。馬場記念病院では、私たち臨床工学技士を「ME(メディカルエンジニア/医療技術者)」



リーダー 堀田幸佑(前列左から2番目) 塚本賢治(前列右から2番目)

小さなものから大きな
ものまで扱う機器は
100種類以上

ME部で、修理対応などを扱う機器の種類は100を超えます。院内には血圧計だけでも数種類ありますから、すべて合わせるとこれほどの数になるのです。これらのなかでも、

MEが手術室に常駐することで安全に手術が行える環境を作る

ME部の大きな役割として、治療や検査の現場で、モニタリングや機器の管理を行い、医師や看護師のサポートをすることがあげられます。これまでは外科からの依頼により、腹腔鏡下の手術機器の準備や点検を行ってきました。臨床工学



たとえば人工呼吸器や人工透析の機械、心臓カテーテル治療で使用するIABP(治療ではなく生命維持に使用)といわれる循環補助装置、それに一般病棟で頻繁に使用される輸液ポンプ、シリンジポンプなど約57種類の機械はME部で管理し、点検が終わったものを病棟に貸し出す、というシステムをとっています。これらの機械は、内部の劣化しやすい部品を定期的に交換するなどして、いつでも安全に使用できる状態を保っています。

技士が従事するようになってからは、より安全で迅速な対応が行えるようになっていきます。そこで、今年の5月から臨床工学技士が1名、手術室に常駐するようになり、今までの点検業務に加え、中央材料室でも業務を行うようになりました。手術のある日は、使用するすべての機器に異常がないかを朝一番に点検しています。手術という特殊な環境下で、機器のトラブルを未然に防ぐために、この作業は非常に重要な作業です。また、機器の不調が起きた場合には、手術に支障がないよう、できる限りスピーディに対応するシステムを作り上げていきたい、と考えています。

医療の進歩で導入される
新しい治療法にも対応

医療の進歩に伴い、機器だけでなく、治療法にも新しいものが出てきますので、ME部でも対応していかなければなりません。

国でも多くありません。当院では、循環器科の山下 啓部長の着任に伴い、昨年からこの最新治療ができるようになりました。アブレーション治療には、特殊な「三次元マッピング装置」を使いますが、これ操作するのが私たち臨床工学技士。事前に何度も勉強会を開いたり、ほかの病院で治療を見学したり、メーカーの技術者から指導を受けたりして、新しい治療法の導入に備えました。今では導入当初に比べるとかなり手際がよくなり、それが手術時間の短縮にもつながっています。

高度医療機器が活躍している現代医療には
なくてはならない存在

私たちの仕事は、表からはあまり目立ちませんが、高度な医療機器が活躍している現代の医療にとっては、なくてはならない存在です。こうして医師や看護師のサポートをしながら医療を裏から支えている姿は、まさに「縁の下での力持ち」だと自負しています。今後も、スタッフ一丸となって、患者さまの健康回復のお手伝いをしていきます。

馬場記念病院
医療機器管理部